

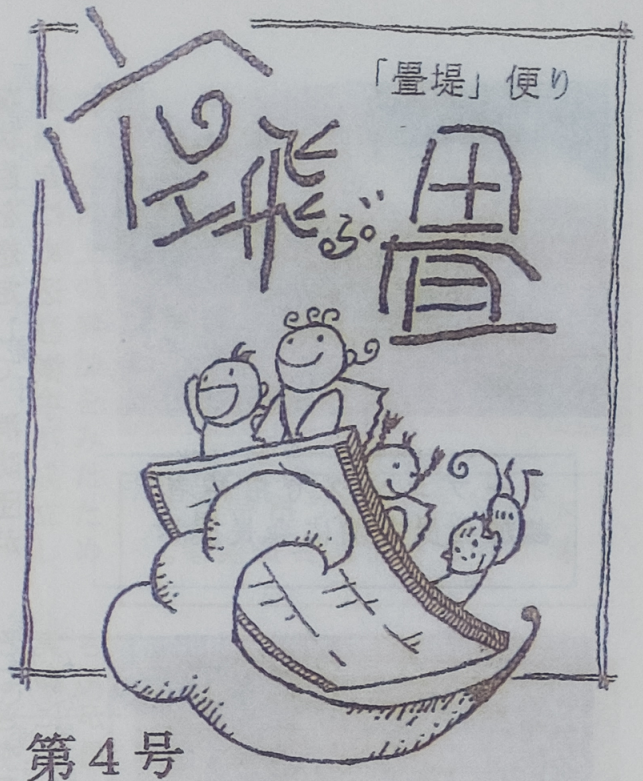
テーマ「あたたかな郷土の風」

去る5月8日の日曜日、五ヶ瀬川の昼堤を守る会の、初めての集いがあり、和やかな笑いのうちに「昼堤」づくりのひと時を過ごしました。

会場になったのは、北町、

心地よい風の中で

なごやかだった「会員のつどい」



発行 五ヶ瀬川の昼堤を守る会
編集 西本師子
住所 延岡市北町1-14
電話 0982-32-2226
FAX 0982-32-2229

駐車場とそれより20メートル先の本家ささき。午後4時からの開催。しかも5月連休の最後の日曜日にもかかわらず、40名以上の会員と市長、議長始めとした招待者が参加していただき、たいへんな賑わいとなりました。メンバーで、企画委員でもある上田耕市さんの明るい司会で幕開け。会長、西本の挨拶に続き、桜井哲雄市長、交通国土省延岡河川国道事務所の高尾秀敏河川副所長から記念の言葉をいただきました。ともに「昼堤」の心を十分に理解され、防災の心に生かす先人の知恵が称えられました。

つづいて、会場前の昼堤に5枚の畳が差し込まれました。作業をした方々は、この時のために来てくださった消防団のみなさま。10名が二人一組で畳を入れ、見物したみなさんから思わず、大きな拍手がわき起こりました。

(次ページにつづく)



一木一草



「朝の散歩ですか」と聞かれれば「いいえ、ウォーキングと言ってもらいたいわ」と答える事にしている。五ヶ瀬川沿いの堤防は、人氣が良く、土曜日などはラッシュ。みんなせつせと歩いている。最近、昔と変ったなと思う事がある。朝の挨拶をする人が少なくなったことだ。「おはようございます」と、声をかけても、完全無視の構えの人が多くなった。相手はそういう気分ではないのかな、人それぞれ、と割り切っている。現象はやはり悲しい。

ところが5月のある日、川風を受けて歩いていっていると、向うからやってきた婦人が「きもちがいいわねー」。

ねーあなたもきつとそうでしょうというように声をかけてきた。おもわず「ほんとね」とこちらにも負けずに大声をだした。

ちよつとした言葉が見知らぬ人でも心をつなぐ。やさしさとは、こうした何気ないことなのかもしれない。



オープニングで招待者や
参加会員を前に会長挨拶。



初披露の紙芝居を熱心に見
る参加者達



能村社長のショートトーク

会場を移動。本家ささきの大広間が、この日のメイン会場。舞台を前にした席は、4つの川の名前「五ヶ瀬川の州」「大瀬川の州」「祝子川の州」「北川の州」とあくまで川にこだわった演出。「みんながテーブルを囲んで、膝突き合わせてひと時を過しましよう」と、司会の上田さんの名調子が続く。

量を上手に使った水防施仕組みは延岡と同じ。近くの住民が量みを運び出すところなど、興味深い記録をみなさんが熱心に見ていました。いよいよ紙芝居の初披露。台の上には模写付きの、普通の紙芝居の二倍の長さの舞台(紙芝居をする装置)が用意されました。

この紙芝居は延岡河川国道事務所が発行。企画立案は五ヶ瀬川を守る会、文は西本、絵、イラストレーターは森有美さん。舞台や模型などは専門の業者に依頼。その他は完全なオリジナル。台風の恐ろしさや量堤の仕組みの説明、実際に使われた様子を、おじさんが男の子に話して聞かせます。紙芝居を見ていた頃の童心に返って、じっと聞き入っていました。絵の中に取り入れた写真で現存する量堤を紹介するところで物語は終わります。

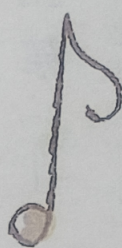
アシスタントは会員の山崎力子さん、木原万里子さんでした。今日のハイライトは、東京から文字通り駆けつけてくれた旭化成リビング&ライフの能村義廣社長。昨日まで、仕事でカナダだったという忙しい中の来延。短いトークをお願いしてあったので「日本の特許第一号」と題して講話。はじめに「五ヶ瀬川の量を守る会」の立ち上げのときに相談され「いいことだからやりなさい」と励ましたことから会員になりました、と入会のいきさつを説明。「量堤」の発明は誰?今なら特許もの、と、独特の論理を展開して、すっかりみんなを話のなかに引きこみました。

懇親会

その後、総会(委細は次ページ)に移り、議案を審議。活動報告をプロジェクターで紹介するなど、ユニークな会議となりました。

懇親会に移り、司会はいよいよ上田さんへ。乾杯は甲斐市議会議員。川並俊一さんが味のある話で会場を沸かせれば、塩月眞さんも牧水の川の歌をじつくりと吟じ、文化のかけがえ一杯。女性のみなさんも、一段と輝いていました。仕事や肩書きの襟をはずして、みんなが笑いさんざめき、なごやかに時間が過ぎていきました。

和田消防長の音頭で万歳三唱。まさに量の上で、あたたかな郷土の風が吹き渡りました。



総会の主な要点

第一回五ヶ瀬川の壘堤を守る会を2005年5月8日、本家ささきで開催しました。
 会員数54人
 参加者数(招待者、懇親会のみ参加者含)42人
 総会出席者34人
 過半数以上の参加をみたため会則にのっとり、会が成立しました。
 議長 木原万里子

第一議案 16年度までの活動経過は下記の通り。
 3号議案 会則改定
 会則を改定し、17年5月8日から施行。
 4号議案 平成17年度の主な活動。
 ① 会報「空飛ぶ壘」発行
 ② 紙芝居語り部活動
 ③ この指止まれ(面白くて加自由)
 ④ 展示会
 ⑤ ホームページによる発信
 ⑥ 年度末総会とつどい開催

会のあゆみと主な活動

平成13年
 7月7日 ◇モニュメント除幕式
 ◇五ヶ瀬川の壘堤を守る会発足する。
 7月 ◇全国川の日ワークショップ出場。準グランプリ

平成14年
 5月 ◇壘堤調査が日本河川協会功労賞

平成15年
 ◇講演活動を展開

平成16年
 11月 ◇冊子発行「壘で街を守る」
 —それは地域と行政の新たな取り組みだった—
 発行延岡工事事務所(当時名)
 五ヶ瀬川の壘堤を守る会
 北町区
 展示会の展開
 虎屋ギャラリー、延岡図館
 出北信用金庫

平成17年
 4月 ◇紙芝居「壘でまちを守ったおはなし」完成
 発行 延岡河川国道事務所
 立案 企画 五ヶ瀬川の壘堤を守る会
 文西本師子 絵森有美

同5月8日
 ◇「壘堤のつどい」—あたたかな郷土の風—
 紙芝居「壘でまちを守ったおはなし」
 講演 能村義廣ライフ&リビング㈱社長

会長挨拶の骨子
 ちようど4年前に壘堤のモニュメントの除幕式を行い、その時「五ヶ瀬川の壘堤を守る会」が発足しました。ほんとは小さな灯でしたが、今は54人も会員に支えていただいています。その間、延岡河川国道事務所をはじめとした行政のお力添えがありました。そして地域の皆さんが背中を押してくれました。官と民がバランスよく協力し合ったこの流れは、官民一体がとも行くべき姿を示唆しているように

に思います
 今日の主役、壘堤は向こう三軒両隣、みんなが助け合つて、効果を高める仕組みです。自分達の町は自分達で守ろうという、これからの防災のあり方を、みごとに示してくれています。こうした延岡の壘堤を啓蒙できることを幸に思い、今後につないで行こうと考えています。
 会員の皆様のかわらぬ励ましと支援に心から感謝いたします。

会長 西本師子

感謝
 今回の壘堤のつどいにご協力をいただいた皆様から感謝を致します。
 * 国土交通省延岡河川国道事務所
 * 延岡市
 * 延岡市消防本部
 * 延岡市中央消防団
 * お菓子の虎屋
 * 山本建築
 * 本家ささき
 * 各新聞報道関係者
 * テレビネットワーク延岡

はじめて私塾を開き、延岡の人々に学問広める

渡辺正庵先生、墓は上の坊

近世の(江戸)出来事だが、九州のどこの藩でも、戦国時代(中世)が終わったというのに、弓矢の腕を磨いて、いざ、ことに備えんという意気込みは無くならなかった。その代わり、学問はさつぱりわからん、という無学派ばかり。

語り部便り 歴史の散歩道



四国九州は弓矢の詮議物書くことはしらざりけりなどと、うたわれたほど。そこで、これではいけないと私塾を開いた人がいた。

名は渡辺正庵(せいあん)。

正庵は寛永8年(1631)生まれ。代々延岡の豪族、土持家につかえた武士だったが、土持氏が太友宗麟に滅ばされたため、東海に住んでいたが、やがて大武に移った。

大武時代に、京都に上って関学、医学を修めて延岡に帰り、さつそく延岡に塾を開いた。

その頃の延岡で一般の人々がお金を払って学問を学ぶなど、はじめてのことだったこともあり、話題となつて、近隣からも人が集まり、塾生が100人以上になった。

これを聞いた当時の延岡藩主、有馬直純は、知行150石20人扶持に銀子を添えて、正庵を召抱え、息子、永純の教育係りとした。ところが、あることで永純に注意しところ、永純の怒りに触れ、国富町に追われることとなる。

二年で延岡に帰ることが許されたが、他人と会うことを禁じられたため、田舎での暮

らしを余儀なくされた。

しかし、長男の栄(さかえ)が父の跡を継ぎ、京都に上つて、伊藤仁斎(じんさい)の門で学んだ。その縁で正庵も仁斎に会っている。仁斎は、正庵の学問を高く評価していた。仁斎の息子、伊藤東涯(とうが)は、栄の親友である。正庵は元禄12年(1699)69歳で亡くなった。なお、墓石正面に書かれた文字は仁斎の筆、略歴を記した墓誌は、東涯の撰文と揮毫によるもの。墓は山下町の善正寺の墓地内だったが、現在、上の坊の墓所になっている。

会員の皆様へ

「空飛ぶ畳」第4号は、17年5月8日に開催しました「畳堤のつどい」と総会の記事を中心に構成しました。したがって、歴史散歩は4ページに掲載し、その他の連載は割愛しました。

会費について

今回の総会の承認を得ましたので、年会費を2000円に致します。ただし、17年度から入会費はありません。16年度入会の皆様(総会欠席者)には、総会資料、畳堤便り、会費振込み用紙を送付させていただきます。17年度も、ご加入いただきますよう、お願いいたします。

五ヶ瀬川の畳堤を守る会



渡辺正庵の墓、標柱が目印
2005年5月19日撮影